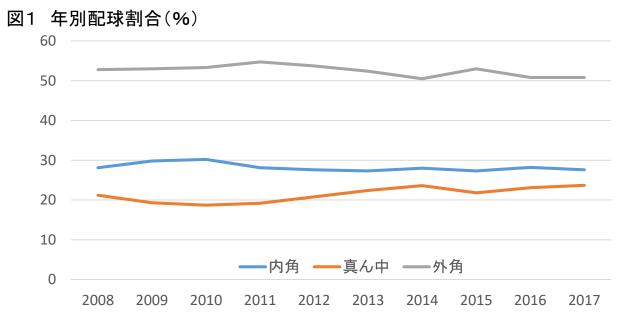
「無難に外角一辺倒」を打破せよ。

動機

「無難に外角一辺倒」という野村克也氏の言葉がある。その理由 として「とりあえずホームランを打たれにくいから。」と述べている。 下図を見てもわかるように外角に投げる割合は他と比べて非常に 高い。果たして外角に投げることは正しいのか。データ分析によっ てそれを明らかにし、よりよい配球を提案したい。



強い投球パターンとは?

強い投球パターンを知りたい

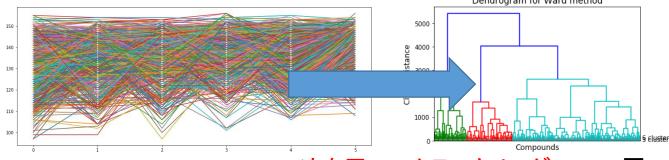
⇒アウトかセーフかを従属変数とし、ロジスティック回帰分析。

①説明変数の簡略化

一球ごとの球速、球種、配球の三種類のデータセット ⇒データのアウトを取るまでの一連の投球を一つの時系列デー タとする⇒似た投球を時系列クラスタリング(pythonを用いた)

下に示したのは球速

時系列データをグラフにして似た投球同士を分類した。



DTW法を用いてクラスタリング

②ロジスティック回帰分析

①で得られた時系列データのクラスタを説明変数とする。

(互いに相関のない全289種類の変数)

(詳細な結果はポスターの右端に記載している。)

結果の解釈

アウトに大きく影響している投球

⇒内角から外角 ずっと内角

ヒットに大きく影響している配球

⇒外角→中角→外角 ずっと外角

野村氏は、外角への投球が良いというのに対して、分析結 果によると内角への投球が良いという結果が出た。これら 二つは矛盾している。

本校野球部顧問青野先生のお話によると、外角に投げる ということは、本塁打を回避するのを引き換えにゴロを打た <u>れやすくなるというリスクを背負う</u>ことになるということだった。

分析Ⅱ 勝ちに影響するのは?

分析 I より、外角に投げて安打を打た れるリスクと、内角に投げて本塁打を 打たれるリスクのどちらを選ぶべきな のかが疑問である。そこで被安打率と 被本塁打率のどちらが勝ちに影響して いるのかを重回帰分析を用いて調べた。

打率 与死球率 自責点率 失点率 暴 投率 被安打率 ボーク率 従属変数:投手勝率 データ元:年間個人投手成績1639人

うため、係数ではなくt値を利用した。)

切片:19.32213

t値

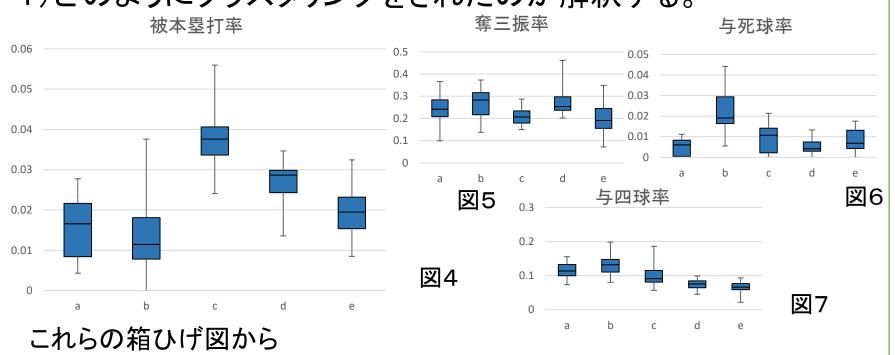
本塁打のほうが圧倒的に勝率に影響していた。本塁打を受ける ことは勝利に大きく影響する要素であり、投手や監督にとって警 戒すべきことだとわかった。

分析Ⅲ 本塁打を打たれる要因は?

しかし、いくら本塁打が勝ちに影響すると言っても、外角に投げたボールは本 当に本塁打を打たれやすいのか。

分析 Ⅱにおいて勝率への影響度が高かった、被本塁打率を含む4つの要素 についてクラスター分析をし、優秀な投手と被本塁打率が高い投手を抽出し た。外角に投げることと本塁打を打たれることに関係があるのかを分析した。 (Rを用いた。)

1)どのようにクラスタリングをされたのか解釈する。



cの被本塁打率が高い、d,eが比較的優秀である

2)どのクラスタが実力のあるのかを調べる。

投手の強さの指標には先発投手、抑え投手を一様に評価できるWHIPを用いた

WHIP・・・ピッチャーがバッターを出塁させない能力 (被安打+与四球)÷投球イニング

WHIPの大きい上位50人の中には

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
人数(人)	6	8	4	17	15
割合(%)	23	40	16	58	42

cが劣っていて、d,eが優秀である

このような結果が出た中で、クラスタc,d,eのそれぞれの投手が どのような投球をしているのかを調べた。

cの投手の外角への配球割合⇒38.29% d,eの投手の外角への配球割合⇒23.86%

cは外角に多く投げているにも関わらず、被本塁打率が高い傾 向にあり、本末転倒である。

逆に、d,eの投手は、内角への配球をうまく織り交ぜることで、 被本塁打率をも低く抑えているといえる。 以上の結果から、

外角に投げることと被本塁打率が低いことは関係が ないといえる。

分析IV チームごとの傾向

各チームは内角外角をどの程度の割合で投げ分けているのか?

チーム	2013	2014	2015	2016	2017
西武	27.5	30.4	29.2	31.3	30.5
広島	29.0	29.0	29.5	32.6	30.2
ヤクルト	29.4	27.4	28.3	27.3	30.1
日本ハム	25.9	29.8	30.1	30.5	29.0
阪神	26.1	28.4	27.7	31.2	28.9
巨人	29.8	31.2	29.5	28.3	28.2
ロッテ	27.7	29.2	25.5	28.0	27.9
中日	27.4	24.8	26.6	25.3	26.8
楽天	27.0	28.7	28.8	29.4	26.5
DeNA	24.2	23.6	23.9	25.9	26.4
ソフトバンク	27.5	24.9	25.2	26.8	24.3
オリックス	23.4	17.6	18.9	17.2	15.4

オリックスは外角への配球が多く、 年間成績、投手成績も伸び悩んでいる。 外角への投球に対する考え方を改め<u>、内角をもっ</u> と織り交ぜていくとよいと私たちは考えた。

今後の展望

ロジスティック回帰分析を行うことで、他の要素についても調 べてみて世の中で言われている方法論の是非を調べていき たい。

参考文献

野球一球ごとのデータセット

https://spaia.jp/

Pythonのプログラミング法 AI STANDARD

https://ai-std.com/login

謝辞

データを提供していただき、このような貴重な機会を与えてく ださった統計数理研究所(「第8回スポーツデータ解析コンペ ティション 中等教育部門」に参加)の皆様、並びに指導してく ださった徳島文理大学理工学部山本由和教授、本校野球部 顧問青野靖先生並びに本校の石井先生、安岐先生に感謝致 します。

決定係数 0.8366 説明変数 277個 従属変数 アウトかどうか データ数 5724個

係数	球種 変化球ストレート変	球速	distance	heigh
5.01E+00	化球	V字	内外	上下
4.55E+00	化球	V字	内外	上上
4.33E+00	変化球ストレート変化球	V字	内外	中上
3.89E+00	変化球ストレート変化球	V字	外中外	上下
3.79E+00	化球	V字	外中外	上上
3.62E+00	変化球ストレート変化球	V字	外	中上
3.48E+00	変化球ストレート変化球	V字	中	上下
3.22E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	外中外	中上
3.20E+00	1七球	V字	内外	不不
3.05E+00	化球	3だけ緩急小	中	上上
3.03E+00	変化球ストレート変 化球	序盤緩急大	外	中上
3.02E+00	変化球ストレート変 化球	序盤緩急大	内外	上上
3.01E+00	変化球ストレート変 化球	3だけ緩急小	内外	上下
2.99E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	外	上上
2.98E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	内外	上上
2.95E+00	変化球ストレート変化球	V字	外中外	中上
2.91E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	外中外	上下
2.74E+00	変化球ストレート変化球	V字	外	上上
2.71E+00	変化球ストレート変化球	V字	中	中上
2.53E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	外中外	上上
2.37E+00	変化球ストレート変化球	V字	中	不不
2.27E+00	変化球ストレート変化球	V字	中	上上
2.21E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	内外	中上
2.06E+00	変化球ストレート変化球	平均的	外中外	上上
2.04E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	内外	不不
2.03E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	中	上下
2.00E+00	変化球ストレート変化球	平均的	外中外	中上
1.99E+00	変化球ストレート変化球	平均的	外	中上
1.97E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	内外	上下
1.90E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	内外	中上
1.89E+00	変化球ストレート変化球	平均的	内外	不不
1.87E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	中	不不
1.67E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	外	上上
1.64E+00	変化球ストレート変	3だけ緩急小	中	中上
1.61E+00	変化球ストレート変	3だけ緩急小	外内	上下
1.61E+00	変化球ストレート変	序盤緩急大	中	上上
1.58E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	外内	不不
1.56E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	外中外	下下
1.55E+00	変化球ストレート変	3だけ緩急小	外内	上下
1.54E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	外中外	中上
1.53E+00	変化球ストレート変化球	3だけ緩急小	外内	上下
1.52E+00	変化球ストレート変化球	序盤緩急大	外中外	不不
	10+A			